

アルファ・ラバル オンラインセミナー（ウェビナー）ご質問回答

ご参加の皆様、たくさんのご質問ありがとうございました。

頂戴しましたご質問への回答は、以下に示しますので、ご参照ください。

その他、ご不明点、ご質問ございましたら、アルファ・ラバルの営業担当者までご連絡ください。

テーマ：排ガスクリーニング装置 PureSOx

実施日時：2020年8月26日（水）

No.	ご質問	アルファ・ラバル回答
1	現在はスクラバーの納期はどれくらいでしょうか？	現在の標準リードタイム(受注～納入)は オープンループ型：9ヶ月 ハイブリッド型：11ヶ月 となりますが、案件/客先要求に応じて短納期対応もご相談可能です。
2	Expressは既に搭載実績等がありますか？	搭載実績はまだございませんが、試作機が9月に完成予定です
3	Expressは通常のシステムと比べてどれくらいコストアップしますか？	Expressと従来のPureSOxはほぼ同じ価格レベルで考えております。 アルファラバルでは、造船所殿所掌分も含めた搭載工事のトータルコスト30%低減を目標としております。
4	このモジュールに関してはどこまでの機器が組み入れられていますか？	モジュールに含まれない主要機器としましては、洗浄水給水ポンプ、およびそのスタータ、排ガスアップテイクおよびバイパスダンパ、洗浄水流量計などがございます。 所謂”スクラバファンネル”に組み込まれる機器はすべてモジュールとして組み入れられています。
5	モジュール内の設計温度はありますか？(パネルの熱保護の観点)	従来PureSOxと同様45度でご計画ください
6	モジュール-機関室の電装取合はどのようなご計画でしょうか？	中継パネルであるリモートI/O BOXをVersion4.0同様に供給しますので、当該BOXが据え付けられる機関室からモジュールへはイーサネットケーブルでの接続となります
7	スクラバーからの排水禁止海域が拡大傾向にあるかと存じますが、今後の動向(排水禁止海域が増えるのか、クロスド/ハイブリッド式のスクラバーが増えるのか等)についてどのようにお考えでしょうか。	ローカル規制としてスクラバーからの排水禁止海域が拡大傾向であることは、長いスパンでみて否定できないと考えます。また排水規制要件がより厳格化される可能性も否定できません。 この場合、ハイブリッドで対応することになりますので、Expressが標準でハイブリッドReadyに対応していることは、将来の拡張性を担保する上で特筆すべきメリットだと考えます

2020年8月28日（金）発行